

妊娠と薬情報センターとは

妊娠と薬情報センターでは、妊娠中・授乳中の服薬による赤ちゃんへの影響を心配する女性に対して、国内外の情報を収集・評価して情報提供を行っています。同時に、妊娠中で同意をいただいた方を対象に、妊娠結果や赤ちゃんの状況について情報をいただき研究等に活用しています。

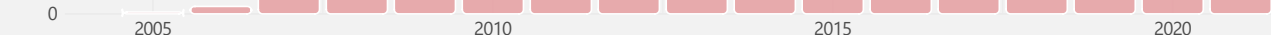
累計相談数

24,477件

妊娠結果の回答数

7,274件

(2005-2021年)

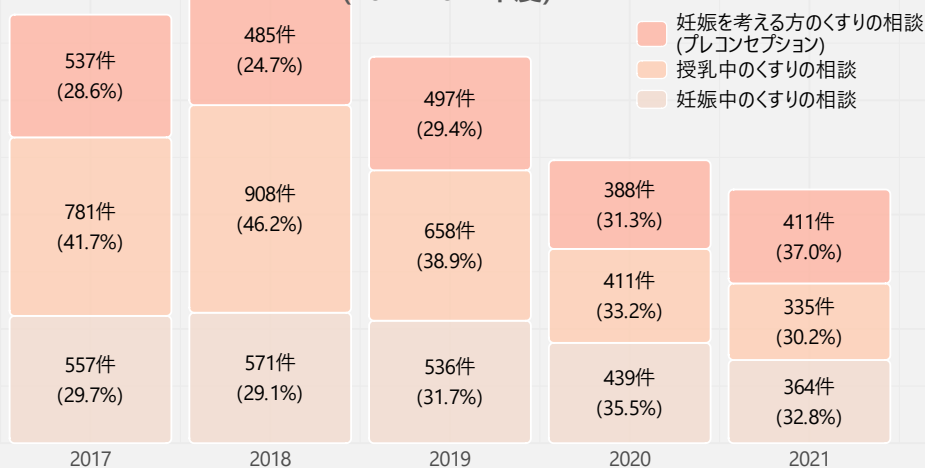


いただいた情報は、研究者・医療従事者等への提供を通じて未来の妊婦さんのために活用されています。



ご相談の内容

(2017-2021年度)



相談医薬品実績

(2005-2021年)

医療用医薬品

8,594品目

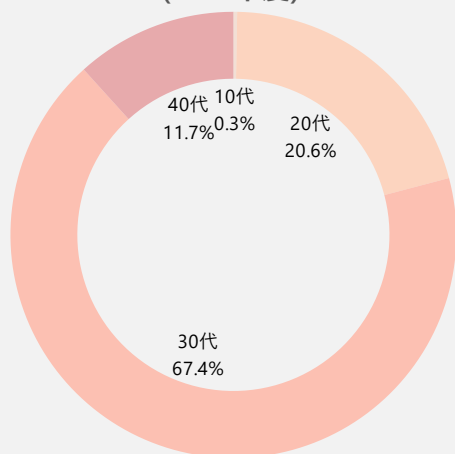
一般用医薬品

1,502品目

医師に処方された医療用医薬品のほか、薬局等で購入できる一般用医薬品についても相談を受けています

ご相談された方の年齢

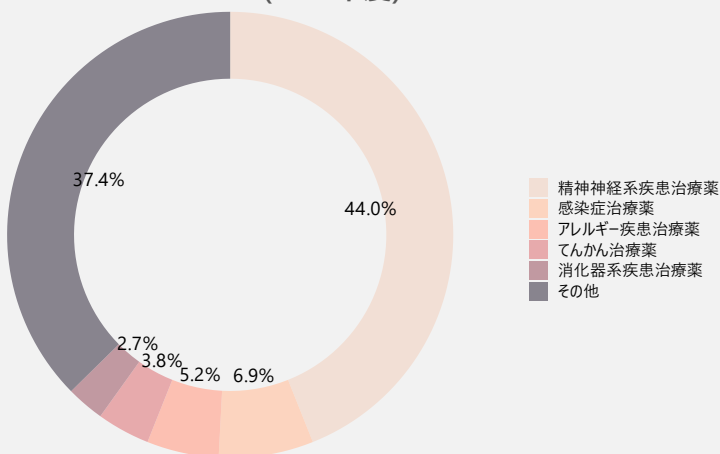
(2021年度)



妊娠を考慮する30代の方を中心に幅広い年齢層の方からご相談をいただいています

妊娠中にご相談いただいた薬剤

(2021年度)



てんかんやうつ病など持病の治療薬のほか、かぜなどの急性期の治療薬もご相談をいただいています



*本資料は、日本医療研究開発機構委託研究費（医薬品等規制調和・評価研究事業）「レジストリ研究も含むリアルワールドデータを用いた妊婦・授乳婦における医薬品の安全性・有効性のエビデンス創出に資する方法論の開発に関する研究」（研究開発代表者 村島温子）の成果をもとに作成いたしました